

# 平成21年度決算を認定しました

## 一般会計

**反対** 高い国保税は変わらず、介護保険も保険料・利用料が高く低所得者には使いにくいままである。

議員や町長がかかわる研修には大きな無駄遣いがある。更に、町会議員が町長の審議会に加わって報酬を受取る弊害を改めよ。  
(中川雅夫議員)

**賛成** 予算規模は100億円。

法人税が2億円も減少、町税の滞納繰越分も1億円を超える財政状況の中、

- ①小3迄の医療費無料化拡大
- ②町独自の子育て手当ての継続
- ③学校体育館の耐震化などを確実に実施した。

予算執行での更なる努力を期待したい。  
(石川 正議員)

**反対** 歳入では、公募化を進め、資金の多様化を進めるため三二八募債を検討せよ。歳出では、補助金を委員会等作って検討せよ。出を制するだけでなく適正に行うためにも早期に取り掛かれ。

公平性では、公は公平性を重んじることが重要な要素。  
(山口洋子議員)

**賛成** 先の見え難い経済の下、厳しい財政運営が強いられる。その様な中、支出を精査しながら限りある財源を効率的・効果的に執行し、町民から求められている施策を着実に実施し、真摯な態度で行財政運営を実現した意義深い決算内容であり評価する。  
(井俣憲治議員)

## 特別会計

### 国民健康保険

**反対** 医療費等繰入金を維持すれば国保税の減税は可能。

特定健診の自己負担はやるべきだ。  
資格証明書を発行していないことは評価できる。  
(門原武志議員)

### 後期高齢者医療

**反対** お年寄り差別の医療制度に反対。

お年寄りを無保険状態に置くことは許されない。  
この制度では、滞納者に資格証明書を発行することになっっているが、東郷町では発行実績はない。今後も発行しないよう求める。  
(門原武志議員)

### 介護保険

**反対** この4年間で繰越金と準備基金の合計額が約2億円も増えた。

今でも介護保険料が高すぎることの証拠。  
また保険料と利用料の減免制度が東郷町には全くない。

(門原武志議員)

### 下水道事業

**反対** 都市計画税は公共下水道事業のために集められている。その上、受益者負担金も集められている。

都市計画税と受益者負担金の二重取りは認められない。  
(門原武志議員)

## 人事

### 固定資産評価審査委員の選任

固定資産評価審査委員の加藤昇氏が任期満了となるため、引き続き同氏を固定資産評価審査委員に選任することに同意しました。  
任期は平成25年9月30日まで。

### 教育委員の任命

教育委員の安田慎市氏が任期満了となるため、引き続き同氏を教育委員に任命することに同意しました。  
任期は平成26年9月30日まで。

## 請願

### 子ども医療費支給制度の中学校までの拡大を求める請願

この請願は和合ヶ丘在住の伊豆原直氏から中川雅夫議員を紹介議員として提出されました。

民生委員会では採択されましたが、本会議では賛成少数で不採択となりました。

**反対**

町長は来年度以降できる限り早い時期に小学校6年生までの無料化拡大を言明している。来年度からの実施を強く望む。

しかし子ども医療費の無料化はコンビニ受診など、多重受診にもつながり、福祉医療費の増加や国保にも影響を与える懸念がある。  
(橋本洵子議員)

**賛成**

医療費無料化に東郷町が乗りおくれて、町民の負担にこたえたと言えるが、病気は早期対応が結局、医療費全体で抑制効果がある。

病気をこじらせれば医療保険全体の費用も膨らむ。  
若い親が子どもの病気で困っている時ぐらい、支援してほしい。  
(中川雅夫議員)

**賛成**

「子どもの医療費中3まで無料化」はこの度の町長選挙、対立候補の坂部守義氏の目玉的政策であった。

「21票差まで町民が推した」と言うことは、町民がこの政策を望んでいると敬意を表し、町民の声を届け賛成とする。  
(山口洋子議員)